

県政ホットニュース

県庁で行われている定例記者会見などから、知事の発言や方針を紹介して、県政の新たな動きをお伝えします。

ホームページ「こちら知事室です」に、定例記者会見の様子や「あらい日誌」を掲載しています。ぜひご覧ください！ [あらい日誌](#) [検索](#)

東アジアの未来に向けて 第5回東アジア地方政府会合開催



▲討議テーマについての事例発表や議論の様子

10月27日～29日、東アジア各国の地方政府の代表者が共通する課題について議論する「第5回東アジア地方政府会合」が、ホテル日航奈良（奈良市）で開かれました。

第5回目となる今回は、日本・中国・インドネシア・マレーシア・韓国・ベトナムの6か国40の地方政府に加え、ゲストとしてミャンマーのマグウェイ地域政府が参加しました。

県知事は、「東アジアの地方政府に共通する課題について、自

ら荒井正吾奈良

だきたい」と挨拶しました。東アジア・アセアン経済研究センターと国連世界観光機関アジア太平洋センターによるプレセッションが行われた後、3つのテーブルに分かれたグループ討議では、集まった地方政府の代表が、「地域経済の振興」、「まちづくり」、「観光振興」のテーマについて、それぞれ活発に討議を行いました。



▲代表記者会見の様子

今回の講師



JTIC.SWISSの
けいいちろう
山田 桂一郎さん



政策研究大学院大学の
もり ち
森地 茂さん



(株)日本総合研究所の
も ち
瀬谷 浩介さん

国際課 ☎0742-27-5822 FAX 0742-22-1260

大古事記展 開催中

10月17日、県立美術館で「語り継ぐココロとコトバ 大古事記展」の開会式が行われました。この展覧会は、記紀・万葉プロジェクトの3年目の集大成として開かれているものです。

開会式では、古代衣装に身を包んだ荒井知事が「古事記の特徴は人間の原像のようなものが描かれていることと、死者との対話があることだと思えます。古代の人の感性にふれ、古事記の世界を楽しく味わっていただければと思います」と挨拶した後、古事記序文の一節を朗唱しました。

展覧会は、12月14日まで開かれています。



▲大神神社 子持勾玉



▲石上神宮 七支刀(11/26～複製品を展示)



▲古事記の物語を表現した、現代アートの作品



▲太安萬侶神坐像が迎える「序章」の展示



▲貴重な展示品が並ぶ館内のようす

国際課 ☎0742-27-5822 FAX 0742-22-1260 www.pref.nara.jp/miryoku/daikojikiten/

天理市と「まちづくり」に関する包括協定」を締結



▲まちづくりに関する包括協定締結式・合同記者会見の様子

に情報や意見を交換し、天理駅周辺地区等のまちづくりの検討や取り組みを協働して進めていくこととなります。

今回は、天理市のまちづくりに向けた考え方や方向性が、県の方針と合致したことから、県内ではじめて「県と市町村とのまちづくり包括協定」が締結されました。

今後、県としては、天理市に対し、まちづくり計画の協働検討や事業メニューの紹介などの技術的側面だけでなく、市事業への県費補助や県有地の提供や貸付などの財政的側面も含め、「奈良モデル」の発想の延長として、積極的に支援を行っていきます。

県と天理市は、地域の持続的発展や活性化を目的としたまちづくりに協働・連携して取り組むため、10月17日、県庁でまちづくりに関する包括協定を締結しました。

図県地域デザイン推進課 ☎0742-27-5433 FAX 0742-27-7685

「奈良の木フォーラム in 東京」開催

10月31日、首都圏で活躍されている建築、木材関係事業者を対象に「奈良県産材」の魅力を紹介する「奈良の木フォーラム in 東京」が実践学園中学・高等学校 自由学習館（東京都）で開かれました。

はじめに、建築家で東京大学教授の隈研吾さんと荒井知事により、「吉野材を使った新たな空間の創造」をテーマにした対談が行われ、奈良県産材の紹介と隈研吾さんのこれまでの建築事例の紹介を皮切りに、木と生活の関わり、今後の木造建築のあり方など、幅広い知見からの議論が行われました。

その後、隈さん、出口由美さん（婦人画報編集長）、山極博史さん（家具デザイナー）を講師に、早稲田大学古谷誠章研究室の学生による「首都圏における吉野材（スギ、ヒノキ）を活かした木質空間デザイン」についての研究発表、最後に、古



▲対談の様子

谷誠章さん（建築家、早稲田大学教授）、隈さん、出口さん、山極さんにより、「木と人のつながりについて」吉野材考をテーマに、パネルディスカッションが行われました。

図県奈良の木ブランド課 ☎0742-27-7470 FAX 0742-27-1070

「シエフエスタ in 奈良」奈良の「食」の魅力発信



▲会場の様子

10月25日から11月3日の間、奈良公園登大路園地で、奈良フードフェスティバル2014「シエフエスタ in 奈良」が開かれ、県内外から約9万8千人の来場者が奈良の食を楽しみました。

でランチメニューを提供する「シエフズキッチン」の他、人気のピッツェリアが、熱々のピッツァを提供する「青空ピッツァ」、手軽に食べ歩きできる料理を提供する「シエフエスタ・バル」等が期間中毎日開かれました。

なお、この取り組みは、シエフによる県産食材の華麗なアレンジを通じ、奈良の美味しい「食」を多くの方に楽しんでいただき、奈良の「食」の魅力向上を目指すもので、今回で6回目となります。



▲オープニングから晴天に恵まれて多くの来場者が会場へ向かう

図県マーケティング課 ☎0742-27-7401 FAX 0742-26-6211